Komatsushima City

次の７５年へ向かって

～２１００年を見据えた積極投資～

基本的な考え方

1. 喫緊の行政課題である「人口減少」に正面から相対し、過去最大規模の予算をもって小学校再編をはじめとする取組みを進める
2. 市制施行７５周年となる令和８年度を契機として、地域活性化イベントなど、地域のにぎわいづくりに資する施策を戦略的に展開していく
3. 未来を見据え、社会環境の変化に負けない持続可能な行財政運営の体制構築や基盤づくりを推進する

予算編成のポイント

1. 引き続き「子育て世代応援プロジェクト」を推進・拡大するとともに、令和９年度の開校に向け、新小学校建設を着実に推進する
2. これまでのイベントをさらに発展させるとともに、新たなイベントや観光資源の創出に注力し、地域ブランディングを加速させる
3. 令和６年度末に策定した「財政収支健全化集中取り組みプラン」を軸とし、行財政運営の効率化、地域の持続的発展に必要不可欠な取組みを行う

「子育て世代応援プロジェクト」の推進・拡大

Komatsushima City

令和４年度より「子育て世代から選ばれるまち・小松島市」をめざして、ソフト・ハード両面で取組みを進めています。新小学校建築を着実に推進しながら、今後も引き続き、子育て世代に向けた施策の充実を図ります。

子どもの教育環境の充実

★新小学校施設整備事業【５，０２３，９１９千円】

令和９年４月の開校に向けて新たな校舎の建築を進めます。併せて、校章や服装など、ソフト面の準備も進めているところであり、「学校再編だより」を通じて取組状況を児童や保護者、また地域住民へ周知を行っていきます。

★中学校体育館の空調整備【８，０００千円】 新規

子どもたちが安全に安心して学習活動を行うことができるよう、そして、災害時には地域の避難所として安心・安全な環境を提供できるよう、中学校体育館の空調設備整備に取り組みます

★学校給食運営事業及び同補助事業【３１６，５８３千円】 新規

国の小学校給食費の抜本的負担軽減の方針に基づき新たに創設される「市町村給食費負担軽減交付金（仮称）」と、同交付金不足分を令和８年度は市が負担することにより、市内小学校に通う児童の給食費を無償化します。また、新たに弁当持参の児童、国立及び私立小学校の児童にも補助を実施するとともに、市内中学校の給食費も、保護者負担軽減支援を引き続き継続します。

※新小学校建設工事の様子と完成イメージ図

子育て世代の負担軽減

★認可外保育施設等保育料無償化事業【１，５１２千円】 拡充

令和７年度は世帯年収約６４０万円未満の世帯の０歳から２歳児の保育料無償化を実施したところですが、令和８年度からは、県の補助事業を活用しながら、認可外保育施設に通う０歳から２歳児についても無償化支援の対象とし、負担軽減の対象を拡大します

★奨学金支給事業【１，６８０千円】 拡充

経済的理由で修学が困難な方に、高校生等奨学金や大学入学準備金を支給します。令和８年度は高等学校等に入学する中学３年生を対象に、新たに高校入学準備金を創設し、高校等に進学する方への経済的な支援を行います。

親子が安心して暮らせる環境づくり

★ゾーン３０プラス整備事業【３０，０００千円】 新規

北小松島小周辺エリアにおいて、国による技術的・財政的支援のもと、市や警察、学校・教育委員会、地域の方々と連携・協力して、最高速度３０km／ｈの区域規制と物理的デバイスを適切に組み合わせた「ゾーン３０プラス」の導入に取り組みます。令和８年度は、速度抑制対策などの物理的デバイスの整備に向け、対象地区内の測量設計業務に着手します。

★乳児等通園支援事業【３，２４０千円】 新規

保育所や認定こども園等に通っていない０歳６か月から満３歳未満のこどもを対象に、保護者の就労要件を問わず、月１０時間の範囲で、保育所等の施設への通園給付を開始します。

にぎわい創出

Komatsushima City

市制施行７５周年という一つの節目を迎え、これまでの先人たちが積み重ねてきた「こまつしま」という財産を継承するとともに、さらなる発展をめざして、未来につながる施策を展開していきます。

７５周年記念イベント

★市制施行記念事業費【１，２４２千円】 拡充

市制施行７５周年を迎えるにあたり、記念行事や関連イベントに、ふるさとアンバサダーの方々等を招待するなど、様々な形で連携していただき、賑わいの創出を図ります。その１つとして、ふるさとアンバサダーの演歌歌手　山崎ていじ氏のご尽力により、本市を題材にし、特産物や観光地・イベント・文化等を盛り込んだ歌と映像によるミュージックビデオを制作していただいております。

★小松島「逆風」ハーフマラソン大会開催事業【９，５００千円】 拡充

ハーフの部のほか、エンジョイランの部の追加、海上自衛隊第２４航空隊基地内を走るコースの新設など、回を重ねるごとに新たな取り組みを進め、毎年ご参加いただけるランナーの方も増加し、にぎわいづくりにつながっています。第６回では、健康意識向上や会場での地域特産品ＰＲなどをさらに進めるほか、新たな種目の追加にも取り組み、さらなる参加者の増加につなげます。

※大会開催時の様子

★自主公演事業【９，０７７千円】 拡充

※公演の様子

サウンドハウスホールでの自主事業において、映画の上映や演劇、また、宝くじ文化公演等の助成事業を活用した質の高いコンサートを開催することで、本市での芸術文化の振興に努めます。令和８年度は、市制施行７５周年であることから、市民の皆様にさらに楽しんでいただけるよう自主事業の拡大を図ってまいります。

地域にぎわいづくり

★屋内プール等整備事業【１７，５３７千円】

令和５年度から検討を進めてきた屋内プールを含む複合施設整備については、財政負担の軽減や平準化、施設配置の最適化などの観点から、屋内プールの再検討および既存施設の利活用の検討を行い、「小松島市複合施設整備基本計画」のコンセプト等を基に計画を見直しています。令和８年度は、事業者選定に向けた要求水準書の作成に取り組んでまいります。

★本港地区にぎわい創出事業【１３，２２９千円】 拡充

令和７年度は、「秋の阿波おどり」「小松島みなとマルシェ」「ＪＡＺＺバル『ナイトハーバー』」「中華そば祭り」など様々なイベントを開催しました。令和８年度は、親子で参加できる体験型企画の充実を図ることで、親子連れをはじめとした来場者の増加を促し、さらなるにぎわい創出と交流人口の拡大につなげてまいります。

※秋の阿波おどりの様子

★観光資源創出事業【１，４３０千円】 新規

※入港したクルーズ船の様子

観光消費が地域内で効率的に循環する「持続可能な観光地づくり」を推進しています。クルーズ船寄港による来訪者や県外からの宿泊者の市内滞在促進と地域経済の活性化を図るため、食・文化・歴史などの地域資源を活用した体験型観光商品の造成・商品化を目指します。

持続的発展に向けた取組み

近年の少子高齢化をはじめとする社会環境の変化に負けない自治体をめざします。他方で、行政サービスの維持・向上や、将来のために必要な事業には、将来世代への負担の先送りすることがないよう積極的に投資を進めます。

行財政運営の効率化

★公共施設予約システム導入事業【４，０５３千円】 新規

利用者がパソコンやスマートフォン等を利用して、時間や場所の制限無く、いつでもどこからでも、申請手続が可能となり、管理者側は、受付業務等のコスト削減やダブルブッキングの防止など、市民の利便性向上及び行政運営の効率化を図ります。令和８年度は、市立体育館等を対象として公共施設等予約システム導入を推進します。

★生成ＡＩ導入事業【２，２５５千円】 新規

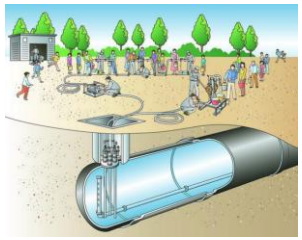
今後急速な人口減少が見込まれるなか、自治体が持続可能な形で行政サービスを提供していくために、デジタル技術やＡＩ等で業務効率化を図る必要があります。そこで、本市でも生成ＡＩを導入し、文章の作成や要約、アイデア出しなどに活用することで職員の業務効率化につなげるとともに、コスト削減や住民サービス向上をめざします。

地域防災に向けた取組み

★津波避難施設整備事業【１１２，５１３千円】※R7補正予算事業費を含む

和田島北部地区で約６００人を収容可能とする津波避難施設の整備に取り組んでいます。令和７年度に着工した津波避難施設整備工事は、令和８年度の完成を予定しており、当該施設の供用開始により、小松島市内の津波避難困難者ゼロをめざします。

★耐震性貯水槽設置【６６，０００千円】 新規



※耐震性貯水槽イメージ図

災害時の応急給水体制の構築及び飲料水の確保を目的とした耐震性貯水施設の整備を進めます。令和８年度は建築中の新小学校に耐震性貯水施設を整備し、災害時の応急給水体制のより一層の充実を図ります。

人生１１０年時代への挑戦

○緊急通報装置整備事業【５，９６６千円】※特別会計

緊急通報装置とは、高齢者世帯の方が緊急時に、ボタン１つを押すことで２４時間対応の受信センターにつながり、親族等への連絡や救急車の手配などを行うことのできる見守りシステムです。これらを貸与することで高齢者の方の自宅での暮らしの不安を取り除き、安心で充実した生活を過ごせるよう支援します。

○シニア向けイベント開催【３，４５７千円】※特別会計含む

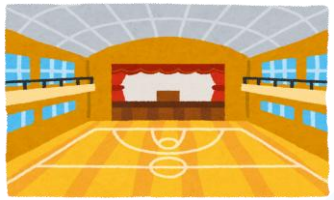
認知症をテーマとした「オレンジセミナー」、高齢者問題全般の啓発や外出機会の創出を目的とした「きらきらシニアフェスタ」といったシニアやその家族に向けたイベントを開催します。高齢化社会のなかでひとりひとりが尊重され、自分らしく安心して暮らせるまちづくりをめざして、啓発活動や寛容な社会気運の醸成に向けて取組みを進めます。

施設整備・長寿命化

★一般廃棄物中間処理施設整備事業【２２，２６０千円】

老朽化が進む現ごみ処理施設の更新にあたり、新たな処理技術についての検討を進めます。環境負荷が少なく、ライフサイクルコストにも配慮した新施設整備をめざし、外部の知見も取り入れながら、技術的整合性の検証や経済性の再試算等を行い、次期ごみ処理施設整備に向け最適なあり方を検討します。

★市立体育館メインアリーナ等照明改修事業【２６，０１５千円】 新規



市立体育館メインアリーナのスポーツ環境を改善するため、ＬＥＤ照明に改修します。これにより、照度向上による競技時の安全性・快適性の確保だけでなく、瞬時点灯による災害時や緊急時の利用環境向上にも寄与します。